



TU-879R
ユーザの
楽しみ！

真空管の差し替えて 何が変わるか？

数千円のプラス投資で違った球の音色が聞ける

村瀬 基行／捨辺 始終



TU-879R差し替え真空管の音と特徴

TU-879Rは、改造を行わずに型名や定格が異なる真空管に差し替えて、それぞれの球の音色を楽しめます。真空管のヒータ電圧や、真空管内部の配線構成が同じ球が数種類あり、互換性があります。これはTU-879Rが元から互換性の高い6L6GCという球を採用し、他の球にも対応できるように設計されているためです。ほかの6L6GCを搭載しているアンプのすべてが無改造で差し替えできるものではないので注意してください。

音の印象はそれぞれ個人や試聴する環境で異なります。以下の記述は、あくまで私個人

の印象で、好みの音楽を楽しんでいることをご了解ください。

●6L6GC (TU-879Rキット付属球)

私のTU-879Rには中国のクラシック・コンポーネンツ社製のものが付いていました。クリアで明るく解像度もよい、どちらかというとポップス向けとして使ってています。

●KT88(現行生産品、中国やロシア製など)

6L6GCより太めの球で外観は迫力があります。中低音が前に出て明るい音色で、ジャズなどのソースにはよく合うと思います。

●KT66(現行生産品、ロシア製など)

KT88に音の傾向は似ていますが、少しおと